

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 株式会社 エイチワン

上場取引所 JQ

コード番号 5989 URL <http://www.h1-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 今田 静雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長

(氏名) 大月 悦次

TEL 048-643-0010

四半期報告書提出予定日 平成22年2月5日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	85,946	△20.8	△218	—	2	△99.9	△1,147	—
21年3月期第3四半期	108,559	—	3,400	—	3,378	—	1,378	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△44.66	—
21年3月期第3四半期	53.66	48.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	100,556	36,959	31.5	1,230.90
21年3月期	108,710	38,671	30.2	1,279.04

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 31,625百万円 21年3月期 32,862百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	5.00	15.00
22年3月期	—	5.00	—		
22年3月期(予想)				5.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,000	△14.5	450	△42.2	800	21.4	△1,000	—	△38.92

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧下さい。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 25,750,830株 21年3月期 25,750,830株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 58,104株 21年3月期 58,088株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 25,692,737株 21年3月期第3四半期 25,692,752株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、先進諸国においては政府の景気対策効果により極めて緩やかな景気回復が続き、個人消費に持ち直しや設備投資にも下げ止まりの傾向が見られました。一方で、雇用環境は依然厳しく、日本ではこれらに加えて3年5ヶ月ぶりにデフレ宣言がなされるなど、景気下押しリスクは依然内包されたままであります。

自動車業界においては、日本では自動車販売台数が前年同期水準を上回りはじめたことに加え、海外市場も回復基調にあり、最悪期は脱することとなりました。

このような環境のもと、当第3四半期連結会計期間において当社グループは、生産台数が低水準で推移しても利益を創出できる体質の確立に向け、固定費の見直しや設備投資の絞込みを継続してまいりました。また、主力得意先の新型車部品及び新規部品の受注拡大を図るとともに新規顧客の獲得に努めてまいりました。加えて、将来に向けた技術蓄積や客先への技術提案を積極展開するとともに、主力得意先の小型車戦略に対応すべく低コスト部品のグループ内相互補完体制の構築を継続的に進めております。

このような結果、当第3四半期連結会計期間における経営成績は、売上高につきましては、日本では主力得意先における輸出車生産が振るわなかったものの海外における生産増加がこれを補い330億35百万円(前年同期比3.4%減)となりました。利益面では、前記生産増加と各地域における固定費削減効果などにより営業利益18億9百万円、経常利益18億30百万円、四半期純利益9億3百万円(前年同期は四半期純損失9億83百万円)となりました。

所在地別セグメント状況につきましては、日本、北米においては、継続的に設備投資の絞込みや諸費用の削減に努めた効果が現れはじめ、日本では売上高134億65百万円(前年同期比26.3%減)、営業利益2億82百万円(前年同期は営業損失1億5百万円)、北米では売上高132億43百万円(前年同期比25.6%増)、営業利益4億6百万円(前年同期は営業損失7億95百万円)となりました。アジアにおいては、タイの内需回復が鈍いことや為替換算上の影響により売上高86億18百万円(前年同期比11.8%減)、加えて中国における減価償却費や労務費の増加なども影響し営業利益8億28百万円(前年同期比48.1%減)となりました。

なお、当連結会計年度に属する当四半期連結会計期間以前の期間に関する連結経営成績に関する定性的情報については、当該四半期決算短信をご参照下さい。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における連結財政状態は、資産合計は、保有株式の値上がりを受けて投資その他の資産が増加した一方で、手元流動性圧縮による流動資産の減少や為替換算上の影響もあり有形固定資産が減少したことなどにより1,005億56百万円(前連結会計年度末比81億53百万円減)となりました。

純資産は、四半期純損失の計上などにより369億59百万円(同17億11百万円減)、自己資本比率は31.5%(同1.3ポイントのプラス)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、仕入債務の増加や長期借入れ、社債の発行による収入などにより資金が増加する一方で、有形固定資産の取得や短期借入金の減少、長期借入金の返済などにより資金が減少し、57億74百万円(前年同期比21億68百万円減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益などにより前年同期と比べ26億14百万円(65.5%)増加の66億6百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得が減少したことなどにより前年同期と比べ8億37百万円(27.7%)減少の21億86百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、短期借入金の返済などにより43億76百万円(前年同期は6億36百万円の収入)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、自動車業界では中国やインドなどの新興国市場では堅調な生産が見込まれ、先進諸国でも最悪期こそ一旦は脱したものの、世界経済は未だ先行き不透明な状況であり自動車業界にあっても小型車シフトの更なる進展など経営環境は予断を許さない状況であります。

このような環境のもと、業績につきましては、概ね計画通り推移しており、平成21年10月27日発表の業績予想に関して変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1) 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2) 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、税引前四半期純損失となった場合等には、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,174	6,853
受取手形及び売掛金	16,226	16,795
たな卸資産	9,062	10,135
繰延税金資産	233	255
その他	1,761	2,549
貸倒引当金	△13	—
流動資産合計	33,445	36,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,339	17,071
機械装置及び運搬具(純額)	24,258	27,894
工具、器具及び備品(純額)	9,649	12,239
土地	4,667	4,580
建設仮勘定	6,242	5,857
有形固定資産合計	61,156	67,643
無形固定資産		
ソフトウェア	227	306
その他	22	23
無形固定資産合計	250	329
投資その他の資産		
投資有価証券	5,161	3,568
長期貸付金	105	108
繰延税金資産	65	—
その他	535	562
貸倒引当金	△164	△90
投資その他の資産合計	5,703	4,148
固定資産合計	67,110	72,120
資産合計	100,556	108,710

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,036	13,412
短期借入金	10,768	16,342
1年内償還予定の社債	350	300
1年内返済予定の長期借入金	5,057	5,614
未払金	1,117	1,574
未払法人税等	442	290
賞与引当金	487	985
設備関係支払手形	333	1,054
その他	2,409	2,762
流動負債合計	36,001	42,337
固定負債		
社債	1,000	850
転換社債型新株予約権付社債	5,000	5,000
長期借入金	13,905	13,798
繰延税金負債	1,911	1,609
退職給付引当金	3,097	2,957
役員退職慰労引当金	382	343
債務保証損失引当金	366	351
負ののれん	1,248	1,996
その他	685	794
固定負債合計	27,595	27,701
負債合計	63,597	70,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,240	3,240
資本剰余金	12,237	12,237
利益剰余金	19,833	21,237
自己株式	△36	△36
株主資本合計	35,274	36,678
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	484	△101
為替換算調整勘定	△4,133	△3,714
評価・換算差額等合計	△3,649	△3,816
少数株主持分	5,334	5,808
純資産合計	36,959	38,671
負債純資産合計	100,556	108,710

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	108,559	85,946
売上原価	96,355	79,121
売上総利益	12,203	6,824
販売費及び一般管理費	8,803	7,043
営業利益又は営業損失(△)	3,400	△218
営業外収益		
受取利息及び配当金	110	70
負ののれん償却額	748	748
その他	126	202
営業外収益合計	985	1,021
営業外費用		
支払利息	855	639
持分法による投資損失	5	—
為替差損	129	68
その他	18	93
営業外費用合計	1,008	801
経常利益	3,378	2
特別利益		
固定資産売却益	47	20
特別利益合計	47	20
特別損失		
固定資産売却損	25	18
固定資産廃棄損	194	191
減損損失	—	519
投資有価証券評価損	134	26
持分法による投資損失	518	—
債務保証損失引当金繰入額	329	—
貸倒引当金繰入額	80	70
特別損失合計	1,283	825
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,142	△803
法人税等	715	471
少数株主利益又は少数株主損失(△)	48	△127
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,378	△1,147

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	34,191	33,035
売上原価	31,199	28,836
売上総利益	2,992	4,199
販売費及び一般管理費	2,837	2,389
営業利益	154	1,809
営業外収益		
受取利息及び配当金	38	20
負ののれん償却額	249	249
その他	65	86
営業外収益合計	354	357
営業外費用		
支払利息	276	190
持分法による投資損失	76	—
為替差損	137	95
その他	5	50
営業外費用合計	496	336
経常利益	12	1,830
特別利益		
固定資産売却益	15	3
特別利益合計	15	3
特別損失		
固定資産売却損	△0	4
固定資産廃棄損	34	178
減損損失	—	256
投資有価証券評価損	59	—
持分法による投資損失	518	—
債務保証損失引当金繰入額	329	—
貸倒引当金繰入額	80	—
特別損失合計	1,021	440
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△993	1,393
法人税等	239	409
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△249	80
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△983	903

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,142	△803
減価償却費	12,075	11,470
負ののれん償却額	△748	△748
賞与引当金の増減額(△は減少)	△540	△497
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	101	38
退職給付引当金の増減額(△は減少)	283	156
受取利息及び受取配当金	△110	△70
支払利息	855	639
持分法による投資損益(△は益)	523	—
固定資産売却損益(△は益)	△21	△1
固定資産廃棄損	194	191
減損損失	—	519
投資有価証券評価損益(△は益)	134	26
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	329	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	80	83
売上債権の増減額(△は増加)	△603	516
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,637	880
仕入債務の増減額(△は減少)	1,300	1,803
その他	1,021	251
小計	15,380	14,455
利息及び配当金の受取額	110	70
利息の支払額	△855	△641
法人税等の支払額	△617	△104
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,018	13,780
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,768	△7,602
有形固定資産の売却による収入	233	116
無形固定資産の取得による支出	△28	△18
投資有価証券の取得による支出	△37	△626
その他	723	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,878	△8,152
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△840	△5,998
長期借入れによる収入	4,025	4,653
長期借入金の返済による支出	△5,180	△5,100
社債の発行による収入	1,000	500
社債の償還による支出	△100	△300
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△578	△256
その他	0	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,674	△6,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	△275	101
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,190	△778
現金及び現金同等物の期首残高	3,752	6,553
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,942	5,774

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

自動車部品事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

自動車部品事業の売上高及び営業損失の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業損失の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	40,591	41,346	26,622	108,559	—	108,559
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,185	—	20	8,206	(8,206)	—
計	48,776	41,346	26,643	116,766	(8,206)	108,559
営業利益又は営業損失(△)	△82	80	3,861	3,859	(458)	3,400

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

北米・・・アメリカ、カナダ アジア・・・中国、タイ、インド

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	29,578	33,232	23,135	85,946	—	85,946
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,152	—	23	5,176	(5,176)	—
計	34,731	33,232	23,159	91,122	(5,176)	85,946
営業利益又は営業損失(△)	△1,556	△102	914	△745	526	△218

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

北米・・・アメリカ、カナダ アジア・・・中国、タイ、インド

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	北米	アジア	欧州	計
I 海外売上高(百万円)	41,346	26,621	563	68,531
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	108,559
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	38.1	24.5	0.5	63.1

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 北米・・・アメリカ、カナダ
 (2) アジア・・・中国、タイ、インド
 (3) 欧州・・・イギリス
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	アジア	欧州	計
I 海外売上高(百万円)	33,232	23,137	78	56,447
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	85,946
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	38.7	26.9	0.1	65.7

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 北米・・・アメリカ、カナダ
 (2) アジア・・・中国、タイ、インド
 (3) 欧州・・・イギリス
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。